

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業			担当課	学校教育課	作成責任者	西村 彰洋		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校就学援助事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	特別支援学校への就学奨励に関する法律、施行令、規則								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()				類型	義務型				
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	根拠法令等に準じ、教育の機会均等の趣旨にのっとり、障がいのある児童の保護者等の経済的負担を軽減する								
	対象者	特別支援学級へ就学する児童の保護者	対象者数	31	一人当たりコスト	16				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	要保護・準要保護に認定された児童の保護者を除く、特別支援学級に通級する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について、一部支給する。(学用品費・新入学用品費・修学旅行費・給食費ほか)								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		特別支援教育就学奨励費の支給		給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費等の支給(年3回)					509	
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①			402	0	509	661	661	661	
	財源内訳	一般財源		206	0	273				
		国支出金		196	0	236				
		府支出金								
		地方債								
		その他特財					歳入費目(項)			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			402		509	661	661	661	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	要保護・準要保護に認定された児童の保護者を除く、特別支援学級に通級する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費の一部を支給する制度であるため、成果実績等の指標では表せない。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		認定件数	件	/	18/31	/31	/31	31		
		単位あたりコスト…③/実績								
一人当たり平均支援額		千円	/	28/27	/27	/27	27			
単位あたりコスト…③/実績										
			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	法律に基づく事業である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	支給対象者の認定基準、支給額は国の要綱に基づいているため、変更等を行う余地がない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	障害のある児童の保護者に対して、安心して児童が就学できるよう援助を行った。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	認定を予定していた児童のおおよそ4割は就学援助(要・準要保護児童援助事業)の認定となったため、認定件数が下回ったが、一人当たりの平均支給額は予定どおりの額となった。保護者の経済的負担が減り、障害のある児童が安心して就学することができた。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	国の要綱及び事務処理要領の規定のとおり事業を進める必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、事業の実施により、障害を持つ児童の保護者等の経済的負担を軽減することで、児童が安心して就学できるよう充実を図る。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	もうすぐ1年生体験入学推進事業			担当課	学校教育課	作成責任者	奥野 真敏		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	新入学予定の幼児が小学校への体験入学を行うことで、「小1ギャップ」を解消し、入学後の生活習慣や学習習慣の変化に対応できるようにする。								
	対象者	新入学予定の幼児	対象者数	154	一人当たりコスト	2				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	実施方法	(委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	新入学予定の幼児を対象とした小学校体験入学を実施する。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
消耗品費		球根等の植付体験、給食、清掃、集団下校、授業等の体験に係る費用					340			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	170				
			国支出金							
			府支出金			170				
			地方債							
			その他特財					歳入費目(項)		
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		340	340	340	340	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	指標では表せない 成果・効果	体験入学参加幼児	人	/	155/155	/155	/155	155		
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		小学校体験入学(8校×3回)	回	/	24/24	/24	/24	24		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	全国的に小1ギャップは重要な教育課題であり、本事業は入学前の幼児の小学校への不安感を和らげ幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行のために必須である。また、在校生に対し上級生としての自覚を思いやりの心を醸成する情緒教育としての役割もある。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	費用はすべて花の苗や折り紙等体験授業の実施に必要な消耗品であり、府から1/2が補助されている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	実施後、新年度の教職員へのアンケート(入学後の幼児(新1年生)の追跡調査)では、授業に集中できている等一定の効果が報告されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	府の補助基準である年間3回以上が実施できている。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	小1ギャップは学校生活への不適応・不安・不登校につながるため本事業の意義は大きい。引続き事業を実施することとする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本事業を実施する意義は大きいと考えるため、引き続き事業を実施し、小1プロブレムによる不適応・不安・不登校の解消に努めて行くこととする。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校学力診断・学校満足度調査等事業			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							類型	一般型	
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	学力アップに向けての課題を把握するために、学力診断テストを実施する。また、安定した学校・学級経営を行うために学校満足度調査を行い不登校・いじめ防止等に取り組む。								
	対象者	小学校の全児童	対象者数	1,011	一人当たりコスト	2				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	小学校全児童を対象に学校満足度調査を年に2回、学力診断テストを2教科実施する。また、学校満足度調査の結果を活用するために、教職員研修を実施することで安定した学校づくりにむけて取り組む。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
学校満足度調査		全児童対象に年2回実施					888			
学力診断テスト(標準学力検査)		全児童対象に2教科実施					694			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	1,582				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		1,582	1,582	1,582	1,582	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標では表せない成果・効果 学校満足度調査・学力診断テストは、その結果を児童や学級運営にいかすもので成果を数値として表すことが困難。								
		指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		学校満足度調査の実施回数	回	/	2/2	/2	/2			
		単位あたりコスト…③/実績			791					
学力診断テストの実施回数	回	/	2/2	/2	/2					
単位あたりコスト…③/実績			791							
		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	より良い学校運営を行うためには、各学校・クラスの状態を把握する必要がある。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	本事業の実施によって各種課題を確認することができ、早期の対応・解決に向けた取り組みを行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	学校満足度調査は、与謝野町独自の取り組みとして実施している。また、課題を理解することで、その状況にあわせた指導・対応を行うことができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	すぐに成果を数値として表すことは困難であるが、本事業を行うことで、それぞれの課題を理解することができ、状況にあわせた取り組みが実施できるため、その効果は大である。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	新学習指導要領の導入もあり、今後も継続して学力診断を行い、学校ごとに学力状況を分析し授業に反映する必要がある。また、学校満足度調査についても、Q-U活用推進委員会をより活発化し、学校間や職員間での情報共有を行い、心理検査の有効活用を図りたい。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き満足度調査等を実施することで、その結果を活用し安定した学校づくりにむけて取り組む。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育関係補助事業			担当課	学校教育課	作成責任者	奥野 真敏		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	小学校教育活動(修学旅行、交通安全教育(ヘルメット購入)、芸術鑑賞、校外活動、生徒会活動、与謝野町小学生陸上記録会)を実施することで、児童の学力の定着と向上、心豊かな学校生活の形成に寄与することを目的とする。								
	対象者	小学校児童	対象者数	1,011	一人当たりコスト	2				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	小学校教育活動の実施に際し要する費用を補助することで、保護者の負担を軽減する。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算	
		修学旅行補助金	修学旅行に要する経費を補助						633	
芸術鑑賞費補助金		芸術鑑賞に要する経費を補助						244		
校外活動費補助金		学校外での学習の時間等に要する経費を補助						317		
与謝野町小学生陸上記録会補助金		与謝野町小学生陸上記録大会の運営活動に要する経費を補助						300		
ヘルメット購入補助金	自転車のヘルメット購入に要する経費を補助						204			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	1,698				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		1,698	2,020	2,020	2,020	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		修学旅行	回	/	8/8	/8	/8	8		
		芸術鑑賞	回	/	3/8	/8	/8	8		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		修学旅行補助金交付回数	件	/	8/8	/8	/8	8		
		単位あたりコスト…③/実績								
		芸術鑑賞費補助金交付回数	件	/	3/8	/8	/8	8		
		単位あたりコスト…③/実績								
与謝野小学生町陸上記録会交付回数	件	/	1/1	/1	/1	/1				
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校教育活動に際しての児童(保護者)負担を軽減することを目的とする補助事業のため外部委託はできず、様々な家庭事情のある児童がいる現状必要性は高い。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	補助は最低限であり、他市町と比較しても高額であるということはないため、妥当であると考え。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	本補助制度があることにより全児童が参加して校外活動等の学校教育活動が実施できていることから有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	家庭状況による不参加がなく、適切な回数、校外活動等の学校教育活動が実施できている。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	学校教育活動に際しての保護者負担を軽減することを目的とする補助事業である。家庭の事情による縛りのない学校教育活動の実施は必須であり、引続き本補助事業を実施していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き事業を実施し、家庭の経済状況による不参加のない学校教育活動の実施に努める。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 加悦小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	加悦小学校の児童		対象者数	148	一人当たりコスト	8			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・社会見学の実施 ・教材の整備								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30決算	
	需用費		教師用の指導書・教科書などの購入					786		
使用料及び賃借料	社会見学に伴うバスの借上料					137				
備品購入費	教材や図書の購入					274				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,256	0	1,225	1,225	1,225	1,225	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			1,256		1,225	1,225	1,225	1,225	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。また、社会見学は日程を早く決定し、できる限り町バスを利用することとしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を購入することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 与謝小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	与謝小学校の児童		対象者数	74		一人当たりコスト	7		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	<input type="checkbox"/> 委託先・実施主体等 ・教材の整備								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算
	需用費		教師用の指導書・教科書などの購入					320		
備品購入費			教材や図書の購入					191		
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	596	0	537	537	537	537	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			596		537	537	537	537	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度末で廃校となるので予算要求は行わない。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 桑飼小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	桑飼小学校の児童		対象者数	57	一人当たりコスト	13			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	<input type="checkbox"/> 委託先・実施主体等								
		・教材の整備								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
需用費		教師用の指導書・教科書などの購入					505			
備品購入費		教材や図書の購入					185			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	690	0	715	715	715	715	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			690		715	715	715	715	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度末で廃校となるので予算要求は行わない。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 岩滝小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	岩滝小学校の児童		対象者数	282	一人当たりコスト	7			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・社会見学の実施 ・教材の整備								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算
	需用費		教師用の指導書・教科書などの購入						1,150	
使用料及び賃借料	社会見学に伴うバスの借上料						124			
備品購入費	教材や図書の購入						574			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,943	0	1,860	1,860	1,860	1,860	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			1,943		1,860	1,860	1,860	1,860	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を購入することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 石川小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	石川小学校の児童		対象者数	105	一人当たりコスト	9			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	(委託先・実施主体等) ・教材の整備								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算
	需用費		教師用の指導書・教科書などの購入						613	
備品購入費	教材や図書の購入						328			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	971	0	943	943	943	943	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			971		943	943	943	943	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を購入することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 三河内小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	三河内小学校の児童		対象者数	88		一人当たりコスト	8		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	(委託先・実施主体等) ・教材の整備								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算
	需用費		教師用の指導書・教科書などの購入						586	
備品購入費	教材や図書の購入						118			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	724	0	717	717	717	717	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			724		717	717	717	717	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を購入することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 市場小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	市場小学校の児童		対象者数	153	一人当たりコスト	8			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・社会見学の実施 ・教材の整備								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算
	需用費		教師用の指導書・教科書などの購入						929	
使用料及び賃借料	社会見学に伴うバスの借上料						131			
備品購入費	教材や図書の購入						206			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,451	0	1,272	1,272	1,272	1,272	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			1,451		1,272	1,272	1,272	1,272	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を購入することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 山田小学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	山田小学校の児童		対象者数	101	一人当たりコスト	8			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	(委託先・実施主体等) ・教材の整備								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算
	需用費		教師用の指導書・教科書などの購入						541	
備品購入費	教材や図書の購入						224			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	728	0	789	789	789	789	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			728		789	789	789	789	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指導書や教科書は定価での購入となるのでコスト削減は困難な状態である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和2年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材を整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を購入することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	小学校教育振興費一般経費 学校教育課			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	事業	小学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で各種取組を行うとともに教材等も整備し教育環境を充実させる。								
	対象者	各小学校の児童		対象者数	1,008	一人当たりコスト	1			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	府の委託事業を活用し、各学校が自校の課題解決するための取り組みや、土曜日を活用して保護者や地域の方も一緒に取り組む教育活動を実施する。また、社会科副読本を独自に作成することで与謝野町の地域についても理解を深める学習を行う。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		需用費		社会科副読本作成費用など					580	
備品購入費		図書購入費用					52			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	401		642	237	237	642	
			国支出金		0	406				
			府支出金		78	236				
			地方債							
			その他特財							
			特定財源名称	学力向上システム開発校委託金			180	委託金		
			土曜教育実践研究事業委託金			56	委託金			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
総事業費(①+②)…③			401		642	237	237	642		
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	各学校の課題克服の取組みであるため積極的に取り組む必要がある。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	社会科の副読本については、教員が調査し作成しており低コストで作成できている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	成果については、数値で表すことはできないものの、独自の取組みを行うことで、各学校の課題に対する取り込みが実施できているものとする。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和2年度から新学習指導要領に基づく学習も始まるため、新たな教材も整備していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を購入することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校維持管理事業 加悦中学校			担当課	学校教育課	作成責任者	加畑 達也		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	事業	中学校管理運営事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	施設管理型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	学校施設の維持管理及び修繕を行い、教育環境の充実を図る。								
	対象者	加悦中学校		対象者数	174	一人当たりコスト	52			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	必要な修繕を行い学校施設の維持管理を実施する。								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30決算	
	教育施設の修繕		学校施設の維持管理と修繕					9,116		
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	9,116	8,286	8,286	8,286	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		9,116	8,286	8,286	8,286	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		修繕実施件数	件	/	9/1	/1	/1	1		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生徒の良好な教育環境の整備のために必要な修繕を実施した。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現場の状況を熟知している業者を選定し、工期の短縮を図った。また、業者と綿密な打合せを行い、効果的な修繕内容を選択することに努めた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	成果では数値を表すことはできないものの、各学校の要望や必要な修繕に優先順位をつけ、実施できているものとする。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	加悦中学校からの修繕要望はないが、経常経費の削減に努めていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	修繕の必要が生じた場合は、必要性・緊急性の高いものから実施していく。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校維持管理事業 江陽中学校			担当課	学校教育課	作成責任者	加畑 達也		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	事業	中学校管理運営事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	施設管理型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	学校施設の維持管理及び修繕を行い、教育環境の充実を図る。								
	対象者	江陽中学校		対象者数	263	一人当たりコスト	33			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	必要な修繕を行い学校施設の維持管理を実施する。								
		主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容				H30決算		
	関連事業									
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	8,668	7,920	7,920	7,920	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		8,668	7,920	7,920	7,920	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない成果・効果	学校施設の維持管理を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		修繕実施件数	件	/	13/3	/3	/3	3		
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生徒の良好な教育環境の整備のために必要な修繕を実施した。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現場の状況を熟知している業者を選定し、工期の短縮を図った。また、業者と綿密な打合せを行い、効果的な修繕内容を選択することに努めた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	成果では数値を表すことはできないものの、各学校の要望や必要な修繕に優先順位をつけ、実施できているものとする。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	例年、修繕要望はあるが、必要性の高いものや緊急性の高いものから実施していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	例年、修繕要望はあるが、必要性の高いものや緊急性の高いものから実施していく。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校維持管理事業 学校教育課			担当課	学校教育課	作成責任者	加畑 達也		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	事業	中学校管理運営事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	施設管理型		
事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	教員の業務に必要なパソコン等を計画的に整備し、また学校施設の維持管理及び修繕を行い、教育環境の充実を図る。									
対象者	加悦中学校、江陽中学校			対象者数	337	一人当たりコスト	10			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)									
事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	教員の業務に必要なパソコン等を計画的に整備し、必要な修繕を行い学校施設の維持管理を実施する。									
主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算			
	使用料及び賃借料		職員室パソコンリース料				1,180			
	需用費		学校施設の維持管理と修繕				757			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①					3,289	3,877	3,877	3,877	
	財源内訳	一般財源		0	0	3,289				
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財					歳入費目(項)			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		3,289	3,877	3,877	3,877	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	業務に必要なパソコンの整備や学校施設の維持管理を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		リースパソコンの整備	台	/	57/57	/60	/60	60		
		単位あたりコスト…③/実績								
学校修繕		件	/	1/5	/5	/5	5			
単位あたりコスト…③/実績										
			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	教育環境の確保のために必要な事業である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	最適な方法を検討し、コスト削減に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	計画的に職員室パソコンの整備ができており、今後も必要性が高い。また、教育環境整備のために必要な修繕を実施している。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	教職員、生徒の環境整備に必要な事業であり、今後も学校要望や必要性の高いものから実施していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	例年、修繕要望はあるが、必要性の高いものや緊急性の高いものから実施していく。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校教職員健康管理事業			担当課	学校教育課	作成責任者	杉本 真由美		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	事業	中学校管理運営事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度							
	根拠法令等	学校保健安全法、同施行規則			関連計画等					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	学校における保健管理及び、教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるとともに、学校における安全管理、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため教職員の健康の保持増進を図る。								
	対象者	町立中学校に勤務する府費負担教職員	対象者数	46人	一人当たりコスト	6				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	実施方法	(委託先・実施主体等) 一般財団法人 京都微生物研究所								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	町立中学校に勤務する府費負担教職員に対して健康診査等を実施する。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
町立中学校教職員への健康診査等の実施		集団健診、B型肝炎検査及びワクチン接種、結核審査等					265			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①				0	265	328	328	328	
	財源内訳	一般財源		0	0	265				
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		265	328	328	328	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない成果・効果	教職員の健康管理を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		集団健診実施回数	回	/	1/1	/1	/1	1		
		単位あたりコスト…③/実績								
		B型肝炎検査実施回数	回	/	1/1	/1	/1	1		
		単位あたりコスト…③/実績								
		結核審査会実施回数	回	/	1/1	/1	/1	1		
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校保健安全法に基づき実施することが義務付けられている事業のため必要である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	教職員の健康維持向上及び実情に応じた措置が図られるよう努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	教職員の健康状態を把握することにより安定した学校運営を行なえるよう努めた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	教職員の健康維持・向上に必要な健診機会を持つことで、安定した学校運営を行い、教育環境の充実を図った。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	教職員の健康維持、増進のため恒久的な実施が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今後も教職員の健康維持・向上に必要な健診機会を持つことで、職場として学校施設の安全管理、教育環境の充実を図るとともに、安定した学校運営を行い、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校児童生徒健康管理事業			担当課	学校教育課	作成責任者	西村 彰洋		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	事業	中学校管理運営事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	学校保健安全法、同施行規則								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	義務型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	生徒の各疾患を早期に発見し、安心安全な学校生活に寄与すること。								
	対象者	町立中学校に在学する生徒	対象者数	435人	一人当たりコスト	6				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	町立中学校に在学する生徒を対象に、尿検査、心臓検診、眼科検診、耳鼻科検診を実施する。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
		学校医、学校歯科医、学校薬剤師等に係る報酬		学校医、学校歯科医、学校薬剤師等に係る報酬				2,023		
心臓検診、眼科検診、耳鼻科検診委託料		各種検診に係る費用				563				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	2,786	0	2,686	2,826	2,826	2,826	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源 名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			2,786		2,686	2,826	2,826	2,826	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	各種検査等を実施し早期発見することで、安心安全な学校生活に寄与することが目的であるため、数値目標には表せない。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		尿検査受検数	人	/	464/464	/456	/407	407		
単位あたりコスト…③/実績										
心臓検診、眼科検診、耳鼻科検診の受検数		人	/	1,024/1,024	/1,052	/940	940			
単位あたりコスト…③/実績										
			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校保健安全法に基づき実施することが義務付けられている事業のため必要である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	生徒の健康維持向上及び実情に応じた措置が図られるよう努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	生徒の健康状態を把握することにより安定した学校運営を行なえるよう努めた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	生徒の健康維持・向上に必要な健診機会を持つことで、安定した学校運営を行い、教育環境の充実を図った。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	生徒の健康維持、増進のため恒久的な実施が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見		
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、生徒の健康維持・向上に必要な健診機会を確保し、安定した学校運営を図り、学校環境の充実に努める。		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校組合負担金			担当課	学校教育課	作成責任者	杉本 真由美		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	事業	中学校組合負担金				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町宮津市中学校組合条例								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	内部管理型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	安全で快適な学校経営を行うための組合運営がされるよう、交付税算入並びに町市分担金の支出。								
	対象者	中学校組合立橋立中学校生徒	対象者数	261人	一人当たりコスト	244				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	与謝野町宮津市中学校組合へ負担金を支出する。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		組合運営及び学校運営に係る経費		組合議会他組合運営と学校運営に係る人件費及び諸経費(町負担分)					63,798	
関連事業										
執行の状況	区 分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	94,419	0	63,798	63,800	63,800	63,800	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			歳入費目(項)							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			94,419		63,798	63,800	63,800	63,800	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	組合及び学校運営を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		組合立設置学校数	校	/	/1	/1	/1	1		
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	中学校組合の運営経費として最低限必要な負担が必要である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	橋立中学校において、経費節減に向けて常に創意工夫を行っており、今後も継続する。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	<p>經常経費について、交付税算入分では賸えない現状が通常になっており、町市分担金の負担に頼らざるを得ない状況である。宮津市からの生徒の編入が増え、事務の負担も多くなる中、町市分担金の増が懸念される。町市分担金負担割合の検討が必要である。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>組合立中学校の運営に必要な負担金である。今後は老朽化により修繕等が必要な学校施設について計画的に整備を実施する必要があるため、負担金が増額となる見込みである。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>大部分の財源を町市分担金によって成り立っている事業のため、経費の節減は必要であるが、近い将来は施設の老朽化に伴う大規模修繕が必至であり、令和2年度の長寿命化計画の策定と併せ、長期的な事業規模の見直し・検討が必要である。</p>	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校情報教育推進事業 加悦中学校			担当課	学校教育課	作成責任者	奥野 真敏		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校情報教育推進事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	加悦中学校においてICT機器の活用による情報理解教育の推進を図る。								
	対象者	加悦中学校		対象者数	174		一人当たりコスト	26		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	加悦中学校のICT機器を整備し、授業に活用することで加悦中学校の情報教育を推進する。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		使用料及び賃借料		PC機器等リース料					4,246	
需用費		PC教室消耗品・修繕料					324			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	4,570				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財						歳入費目(項)	
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		4,570	4,521	4,521	4,521	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		情報教育授業の受講生徒延べ人数	人	/	5,204/5,204	/5,204	/5,204	5,204		
	指標では 表せない 成果・効果			/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		PC教室授業回数	回	/	88/88	/88	/88	88		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	技術科を含めたICTを利活用した授業の実施は中学校学習指導要領でも定められている。そのため、実施は必須であり学校教育活動のため外部委託は不可能である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	文科省の指針・他市町の整備状況を参考に必要最低限の台数・スペックの機器を業者よりリースし授業に活用している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	技術科の単元、文科省の指針・他市町の活用事例に基づき授業を実施しており、授業への活用頻度は高い。実績は数値としての効果測定が困難であるが、生徒のICT機器への習熟度は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	適切な授業回数・内容で運用ができています。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	PC教室の機器については引き続き必要台数をリースし授業に活用していく。また、文科省の整備指針には普通教室事業へのタブレットPC配備も推奨されており、近隣市町でも配備が進んでいるため、当町においても配備・活用を検討する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	中学校のICT教育については学習指導要領に定められたものであり、引き続き事業を継続し、適切な学校教育活動の推進に努める。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校情報教育推進事業 江陽中学校			担当課	学校教育課	作成責任者	奥野 真敏	
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校情報教育推進事業			
	総計	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち			分野名			
		施策名	(施策1)新たな命の誕生を応援			施策名			
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等			
	根拠法令等								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型	
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	江陽中学校においてICT機器の活用による情報理解教育の推進を図る。							
	対象者	江陽中学校	対象者数	263	一人当たりコスト	18			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	江陽中学校のICT機器を整備し、授業に活用することで江陽中学校の情報教育を推進する。							
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算	
		使用料及び賃借料		PC機器等リース料				4,341	
需用費		PC教室消耗品・修繕料				324			
関連事業									
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	4,665	4,666	4,666	4,666
			国支出金						
			府支出金						
			地方債						
			その他特財						
		特定財源 名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)							
		概算人件費…②							
	総事業費(①+②)…③			0		4,665	4,666	4,666	4,666
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		情報教育授業の受講生徒延べ人数	人	/	11,772/11,772	/11,772	/11,772	11,772	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		PC教室授業回数	回	/	132/132	/132	/132	132	
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/		

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	技術科を含めたICTを利活用した授業の実施は中学校学習指導要領でも定められている。そのため、実施は必須であり学校教育活動のため外部委託は不可能である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	文科省の指針・他市町の整備状況を参考に必要最低限の台数・スペックの機器を業者よりリースし授業に活用している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	技術科の単元、文科省の指針・他市町の活用事例に基づき授業を実施しており、授業への活用頻度は高い。実績は数値としての効果測定が困難であるが、生徒のICT機器への習熟度は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	適切な授業回数・内容で運用ができています。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	PC教室の機器については引き続き必要台数をリースし授業に活用していく。また、文科省の整備指針には普通教室事業へのタブレットPC配備も推奨されており、近隣市町でも配備が進んでいるため、当町においても配備・活用を検討する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	中学校のICT教育については学習指導要領に定められたものであり、引き続き事業を継続し、適切な学校教育活動の推進に努める。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校理科教育施設整備事業			担当課	学校教育課	作成責任者	加畑 達也		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校教育設備整備事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	理科教育設備整備費等補助金交付要綱、理科教育振興法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	建設・整備型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	理科に関する教育を実施するための設備の整備等を行い、理科教育の振興を図る。								
	対象者	中学校	対象者数	437	一人当たりコスト	3				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	H30年度予算と各学校からの要望に基づき、施設等の整備を実施し、理科教育設備の整備率の向上と理科教育の振興を図る。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		消耗品購入		電流磁界観察記他					160	
備品(教材)購入		顕微鏡照明装置 両側LED投光式他					1,141			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	740				
			国支出金			561				
			府支出金							
			地方債							
			その他特財						歳入費目(項)	
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		1,301	1,100	1,334	1,334	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	指標では 表せない 成果・効果	全体の整備率	%	/	85/85	/87	/89	100		
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		備品購入額	千円	/	1,141/1,174	/1,174	/1,174	1,174		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	理科教育の理解力向上に必要な教育備品の整備をする事業
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	見積入札を実施し価格に競争をもたせている
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	備品等を整備し、理科教育の振興を図る
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	実験器具等の備品・消耗品を整備し、理科教育設備の整備を行い、整備率の向上を図った。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	各学校の要望に基づき、順次教育備品を整備し、充実した教育環境を整える為に継続して実施することが求められている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き国庫補助を活用しながら各学校の要望に基づき、教育設備の充実を図り教育環境の充実に努める。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校要・準要保護生徒援助事業			担当課	学校教育課	作成責任者	西村 彰洋		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校就学援助事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	学校教育法第19条、与謝野町就学援助規則								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	義務型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	経済的理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行うことにより、教育の機会を均等に与えることを目的とする。(援助の種類は、給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費等) 【要保護認定者の援助費は生活保護費から支給されているが、修学旅行費は援助対象外のため、就学援助制度により援助している。国庫補助対象】								
	対象者	支給実生徒数	対象者数	102	一人当たりコスト	123				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	①保護者は、4月末までに申請書を提出した。(認定の場合は認定日が4月1日となる。) ②教育委員会は、世帯の所得状況等を基に認定・不認定の決定を行い5月中に通知した。 ③認定した世帯の保護者に対し、7月、9月、1月、3月の4回援助費を支給した。 ※保護者は、4月末を過ぎてからでも随時申請書を提出することは可能だが、認定日は学校が受け付けた日となる。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30決算		
		援助費の支給	給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費、クラブ活動費等の支給(年4回)					12,536		
関連事業										
執行の状況	区 分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	10,670	0	12,536	13,000	13,000	13,000	
			国支出金	0	0	0				
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源 名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			10,670		12,536	13,000	13,000	13,000	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	指標では 表せない 成果・効果	事業目的では『援助を行うことで、教育の機会を均等に与える』としているが、具体的に何を以って成果実績とするか難しい。								
		指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	支給実生徒数/町立中学校在籍生徒数(5月1日)に	人	/	104/92	/106	/97	/82		
		対する見込数(24.5%)	単位あたりコスト…③/実績							
		町立中学校在籍生徒数に対する認定率(年度末)	%	/	23.91%	24.5%	24.5%	24.5%		
		単位あたりコスト…③/実績								
			/	/	/	/				
	単位あたりコスト…③/実績									

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国の要綱、町の規則に基づき経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行った。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者を対象とした事業のため効率性は見込めないが、援助額は国が定めた額と同じためコストは妥当な水準である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	就学困難なご家庭に対して、安心して生徒が就学できるよう援助を行った。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	適正に認定事務を行い、必要な援助を行ったことで、経済的に困難と認められる保護者の経済的負担が減り、教育の機会を均等に与えることができた。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	要・準要保護家庭への支援として必要な事業であり、今後も継続して支援を行う必要がある。今後も、様々な広報媒体を活用し制度の周知を行う必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○経済的理由による就学困難な生徒に対する唯一の金銭面での援助事業であり、教育の機会均等に寄与していると言えます。 ○一方で、援助内容に見合った使いみちになっているか、援助による効果等について、実態把握や検証方法を検討し、不公平感が生まれない制度であるべきです。 ○また、不登校の要因は経済的理由に留まったものでないケースも多くあり、就学支援に関するその他事業や学校現場等との連携により、引き続き、すべての生徒が安心して就学できる環境整備に努めてください。 ○学校教育法に基づく施策であり、法令・規則等に事業執行されるべきものであるため、事業の見直しなしとしていますが、執行にあたっては上記意見を勧告し、これまで以上に適正な制度運用を求めます。	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今年度実施された町事務事業評価において援助内容に見合った使いみちになっているか、援助による効果等について、実態把握や検証方法を検討し、不公平感が生まれない制度であるべきとの意見・評価であったため、保護者の満足度を調査するなど、制度の充実を図りたい。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校生徒遠距離通学支援事業			担当課	学校教育課	作成責任者	杉本 真由美		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校就学援助事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度							
	根拠法令等	なし。(旧加悦町からの引継)			関連計画等					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	遠距離通学をしている生徒・保護者への通学費の負担軽減。								
	対象者	片道6km以上の通学生徒	対象者数	3	一人当たりコスト	4				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	通学距離が片道6km以上の生徒の保護者に対し通学費の補助を行う。 【年間4,000円】								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		補助金の支給		補助該当生徒の保護者へ補助金を支給(年1回)					12	
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	12	0	12	8	8	8	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			12		12	8	8	8	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標では表せない成果・効果 通学費の保護者負担軽減を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
		指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		補助回数	回	/	1/1	/1	/1	1		
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	より充実した支援を行うには実態に即したニーズを把握する必要がある。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	本事業の実施によって一定保護者を支援することができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	ニーズに合った支援ができていないか把握する必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	距離要件は徹底されているが、学校統廃合により今後該校が増える可能性もある。これまでの該校は加悦地域のみだったが、今後の学校統廃合の規模によっては他地域での該校が出る可能性もあるため、補助要綱の整理が必要と考えられる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	遠距離通学児童への必要な支援と考える。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○補助要綱もなく、補助内容の根拠が不明な事業です。現在の対象者が卒業等によりゼロとなった時点で、当該事業は廃止(休止)されるべきであると考えます。</p> <p>○今後、遠距離通学者への補助制度の必要性が認められる場合には、制度設計・要綱を整備し、根拠をしっかりと整理する必要があります。</p>	
二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見		
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>小学校遠距離通学者への通学費補助(対象距離:片道4km以上)については、平成29年度以降該当児童がいないため交付なし。</p> <p>中学生対象の本事業についても、今年度実施された町事務事業評価において対象者がなくなり次第事業廃止との意見・評価であったため、今後対象者がなくなり次第事業廃止とする予定だが、現状としては令和3年度まで対象生徒があるため予算化が必要。</p>	
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業			担当課	学校教育課	作成責任者	西村 彰洋		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校就学援助事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	特別支援学校への就学奨励に関する法律、施行令、規則								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()				類型	義務型				
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	根拠法令等に準じ、教育の機会均等の趣旨にのっとり、障がいのある生徒の保護者等の経済的負担を軽減する								
	対象者	特別支援学級へ就学する生徒の保護者	対象者数	15	一人当たりコスト	19				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	要保護・準要保護に認定された生徒の保護者を除く、特別支援学級に通級する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について、一部支給する。(学用品費・新入学用品費・修学旅行費・給食費ほか)								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		特別支援教育就学奨励費の支給		給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費等の支給(年3回)					288	
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	108	0	288	403	403	403	
			国支出金	55	0	150				
			府支出金	53	0	138				
			地方債							
			その他特財							
			特定財源 名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			108		288	403	403	403	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標では表せない成果・効果 要保護・準要保護に認定された児童の保護者を除く、特別支援学級に通級する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費の一部を支給する制度であるため、成果実績等の指標では表せない。								
		指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		認定件数	件	/	7/15	/15	/15	15		
単位あたりコスト…③/実績										
一人当たり平均支給額		千円	/	41/50	/50	/50	50			
単位あたりコスト…③/実績										
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	法律に基づく事業である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	支給対象者の認定基準、支給額は国の要綱に基づいているため、変更等を行う余地がない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	障害のある生徒の保護者に対して、安心して生徒が就学できるよう援助を行った。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	認定を予定していた生徒のおおよそ半数以上は就学援助(要・準要保護児童援助事業)の認定となったため、認定件数が下回った。一人当たりの平均支給額も修学旅行へ参加した生徒が少なかったため、下回った。事業目的のとおり保護者の経済的負担が減り、障害のある生徒が安心して就学することができた。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	国の要綱及び事務処理要領の規定のとおり事業を進める必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、事業の実施により、障害を持つ生徒の保護者等の経済的負担を軽減することで、生徒が安心して就学できるよう充実を図る。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校学力診断・学校満足度調査等事業			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校教育振興事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	学力アップに向けての課題を把握するために、1年生を対象に学力診断テスト・3年生を対象に校内実力テストを実施している。また、安定した学校・学級経営を行うために学校満足度調査を行い不登校・いじめ防止等に取り組む。								
	対象者	中学校の生徒	対象者数	437	一人当たりコスト	2				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	学校満足度調査を年に2回、学力診断テストを3教科、校内実力テストを3回実施する。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
		学校満足度調査		全生徒対象に年2回実施				384		
学力診断テスト(標準学力検査)		1年生対象に3教科実施				147				
校内実力テスト(与謝共通テスト)		3年生対象に年3回実施				322				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①					853	853	853	853	
	財源内訳	一般財源		0	0	853				
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財							歳入費目(項)	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		853	853	853	853	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では表せない 成果・効果	学校満足度調査・学力診断テスト・校内実力テストは、その結果を生徒や学級運営にいかすもので成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		学校満足度調査の実施回数	回	/	2/2	/2	/2	2		
		単位あたりコスト…③/実績			427					
		学力診断の実施回数	回	/	1/1	/1	/1	1		
単位あたりコスト…③/実績				853						
校内実力テストの実施回数	回	/	3/3	/3	/3	3				
単位あたりコスト…③/実績			284							

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	より良い学校運営を行うためには、各学校・クラスの状態を把握する必要がある。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	本事業の実施によって各種課題を確認することができ、早期の対応・解決に向けた取り組みを行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	学校満足度調査は、与謝野町独自の取り組みとして実施している。また、課題を理解することで、その状況にあわせた指導・対応を行うことができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	すぐに成果を数値として表すことは困難であるが、本事業を行うことで、それぞれの課題を理解することができ、状況にあわせた取り組みが実施できるため、その効果は大である。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	新学習指導要領の導入もあり、今後も継続して学力診断を行い、学校ごとに学力状況を分析し授業に反映する必要がある。また、学校満足度調査についても、Q-U活用推進委員会をより活発化し、学校間や職員間での情報共有を行い、心理検査の有効活用を図りたい。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き満足度調査等を実施することで、その結果を活用し安定した学校づくりにむけて取り組む。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校教育関係補助事業			担当課	学校教育課	作成責任者	奥野 真敏		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校教育振興事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	中学校教育活動(修学旅行、芸術鑑賞、校外活動、生徒会活動、体育大会等選手派遣)を実施することで、生徒の学力の定着と向上、心豊かな学校生活の形成に寄与することを目的とする。								
	対象者	中学校生徒	対象者数	437	一人当たりコスト	5				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	中学校教育活動の実施に際し、要する費用を補助することで、保護者の負担を軽減する。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算	
		修学旅行補助金	修学旅行に要する経費を補助						203	
芸術鑑賞費補助金		芸術鑑賞に要する経費を補助						339		
校外活動費補助金		学校外での学習の時間等に要する経費を補助						177		
生徒会活動補助金		中学校生徒会活動費に要する経費を補助						400		
体育大会等選手派遣補助金	中学校のクラブ活動の遠征等に要する交通費等を補助						903			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	2,022				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		2,022	3,050	3,050	3,050	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		修学旅行	回	/	2/2	/2	/2	2		
		芸術鑑賞	回	/	2/2	/2	/2	2		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標では 表せない 成果・効果								
		指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		修学旅行補助金交付件数	件	/	2/2	/2	/2	2		
		単位あたりコスト…③/実績								
		芸術鑑賞費補助金交付件数	件	/	2/2	/2	/2	2		
単位あたりコスト…③/実績										
生徒会化活動補助金交付件数	件	/	2/2	/2	/2	2				
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明		
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校教育活動に際しての生徒（保護者）負担を軽減することを目的とする補助事業のため外部委託はできず、様々な家庭事情のある生徒がいる現状必要性は高い。	
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○		
	効率性		受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	補助は最低限であり、他市町と比較しても高額であるということはないため、妥当であるとする。
			他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
			コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性		成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	本補助制度があることにより全生徒が参加して校外活動等の学校教育活動が実施できていることから有効性は高い。
			活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
			先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	家庭状況による不参加がなく、適切な回数、校外活動等の学校教育活動が実施できている。			
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	学校教育活動に際しての保護者負担を軽減することを目的とする補助事業である。家庭事情による縛りのない、平均的で均一的な学校教育活動の実施は義務教育の前提であり、引き続き本補助事業を実施していく。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	方針区分	所 見		
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
二次評価（外部）【行革担当課記入】	方針区分	所 見			
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし				
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容		
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き事業を実施し、家庭の経済状況による不参加のない学校教育活動の実施に努める。		
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H29）	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】			
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校教育振興費一般経費 加悦中学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	加悦中学校生徒		対象者数	173	一人当たりコスト	19			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・外部講師による学習・指導の実施 ・学校で使用する教材等の購入 ・各部活で大会参加するためバス借り上げ								
		主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30決算	
	講師謝礼		福祉体験学習・性教育を実施した際の講師謝礼					35		
需用費	道徳副読本の購入・その他教材の購入や修繕					1,150				
役務費	吹奏楽部の楽器メンテナンス料など					85				
使用料及び賃借料	各部活で大会参加するためバスの借上料など					1,498				
備品購入費	教材備品・図書の購入					507				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	3,275	3,275	3,275	3,275	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財						歳入費目(項)	
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		3,275	3,275	3,275	3,275	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標では表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。							
		指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		/	/	/	/					
		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	バスの借り上げは、他校と共同使用したり、日程を早く決定し、できる限り町バスを利用することとしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和3年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上、クラブ活動の充実に繋がる。	
	今後の課題及び方向性 【担当課長記入】	今後は、新学習指導要領に基づく新しい教材も整備していく必要がある。また、クラブの大会参加に係るバス借上料も増加傾向であるので、今後も町バスを利用することを優先するとともに、他校とも共同利用し経費を削減していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を整備することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用したり、スクールバスを利用することで経費の削減に努める。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校教育振興費一般経費 江陽中学校			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各学校で使用する教材等を購入することで教育環境を充実させる。								
	対象者	江陽中学校生徒		対象者数	262	一人当たりコスト	12			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・外部講師による学習・指導の実施 ・学校で使用する教材等の購入 ・各部活で大会参加するためバス借り上げ								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		講師謝礼		性教育を実施した際の講師謝礼					15	
需用費		道徳副読本の購入・その他教材の購入や修繕					1,340			
役務費		備品のメンテナンス料など					31			
使用料及び賃借料		各部活で大会参加するためバスの借上料など					1,331			
備品購入費		教材備品・図書の購入					470			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	0	0	3,187	3,187	3,187	3,187	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源 名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			0		3,187	3,187	3,187	3,187	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	バスの借り上げは、他校と共同使用したり、日程を早く決定し、できる限り町バスを利用することとしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	達成状況を数値として表すことは困難であるが、令和3年度から始まる新学習指導要領の対応や学力の向上、クラブ活動の充実に繋がる。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	今後は、新学習指導要領に基づく新しい教材も整備していく必要がある。また、クラブの大会参加に係るバス借上料も増加傾向であるので、今後も町バスを利用することを優先するとともに、他校とも共同利用し経費を削減していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、教材等を整備することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用したり、スクールバスを利用することで経費の削減に努める。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	中学校教育振興費一般経費 学校教育課			担当課	学校教育課	作成責任者	堀口 義雄		
	歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	事業	中学校教育振興費一般経費				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
基礎情報	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	内部管理型		
	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	職場体験活動の実施により、働くことの意義・厳しさ・喜びを感じたり、和装教室により与謝野町の特産について理解を深める。								
	対象者	加悦・江陽中学校の生徒			対象者数	435	一人当たりコスト	0		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・外部講師による学習指導の実施 ・職場体験活動で使用する教材等の購入 ・職場体験活動に伴うバス借上げ								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
講師謝礼		職場体験学習・和装教室に伴う講師謝礼					46			
需用費		職場体験学習・土曜活用事業に係る消耗品など					65			
役務費		和装教室に係るクリーニング代など					46			
使用料及び賃借料		職場体験学習に伴うバス借上料					45			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①					202	202	202	202	
	財源内訳	一般財源		0	0	118				
		国支出金								
		府支出金				84				
		地方債								
		その他特財								
	特定財源 名称	KYO発見・仕事・文化体験活動推進事業費補助金				70	府補助金			
		土曜教育実践研究事業委託金				14	委託金			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
概算人件費…②										
総事業費(①+②)…③			0		202	202	202	202		
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標では 表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		和装教室の実施	校	/	/1	/2	/2	/2		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	学校で充実した教育を行うため、教材等の整備は必須である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	バスの借り上げは、他校と共同使用したり、日程を早く決定し、できる限り町バスを利用することとしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	具体的な成果目標や活動実績を設定することが困難なため「—」としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
	目的及び目標等の達成状況に対する評価	職場体験を行うことで、働くことの大変さや色々な職業について理解することができている。また和装教室は地場産業である織物業についても理解することができる取組となっている。		
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	職場体験については、府の委託事業を活用し、今後も実施していく。また、和装教室については、町の単独事業であるが与謝野町の特色として全ての中学校で和装教室の取組を広げる予定としている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、府の委託事業等を活用し和装教室を実施する。また、教材等を整備することで教育環境を充実させる。ただし、廃校となる学校の備品等も有効活用する。	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	幼稚園施設維持管理事業			担当課	子育て応援課	作成責任者	安達 希美		
	歳出費目	款 10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園費	事業	02 幼稚園管理運営事業				
	総計	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち			分野名				
		施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援			施策名				
	開始年度	平成17年度	終了予定年度	平成31年度		関連計画等	与謝野町子ども・子育て支援事業計画			
	根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。								
	対象者	幼児	対象者数	22	一人当たりコスト	181				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	幼稚園施設の維持管理及び健全な幼稚園運営を行う。 平成32年度より、野田川認定こども園(仮称)へ移行予定。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
		共済費		社会保険料等				13		
報償費		臨時嘱託教諭賃金				1,456				
需用費		光熱水費等				1,340				
役務費		火災保険料・電話料など				228				
報償費		園医謝礼等				642				
その他						305				
関連事業	保育所管理運営事業 認定こども園管理運営事業									
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	H31計画	H32計画	H33計画	
	事業費…①			4,747	0	3,984	2,170	0	0	
	財源内訳	一般財源		2,796	0	2,087				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		1,951	0	1,897	歳入費目(項)			
	職員人件費	特定財源 名称		幼稚園使用料		0	1,463			
				一時預り保育料		0	434			
	従事職員数(正職/嘱託)									
概算人件費…②										
総事業費(①+②)…③			4,747		3,984	2,170	0	0		
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
	指標では 表せない 成果・効果	園児延人数	人	269/269	258/252	/204	-	-		
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		園児延人数	日	269/269	258/252	/204	/			
		単位あたりコスト…③/実績		17.6	15.4					
		開園日数	日	201/201	201/201	/201	/			
		単位あたりコスト…③/実績		23.6	19.8					
		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成31年度末をもって閉園する予定である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	幼児教育・保育に必要な範囲で教材の購入や施設修繕等を行った
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	町の子育て環境の充実に一定の役割を果たしている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	大きな問題なく幼稚園運営が行われた。 幼稚園教諭は研修にも積極的に参加するなど、幼児教育・保育の質の向上にも努めており、施設の安全性や園児の成長にも十分配慮した環境での運営ができたと考える。 幼稚園の評議員からも、取組や活動に対して高い評価をいただいている。 三河内幼稚園は平成31年度末をもって閉園する予定であり、平成31年度の新規入園募集は行っていない。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	令和元年度末に閉園とする。		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内)【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価(外部)【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年末に閉園	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	加悦聖三一幼稚園補助事業			担当課	子育て応援課	作成責任者	安達 希美		
	歳出費目	款 10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園費	事業	05 就園援助事業				
	総計	分野名	(分野4)つながり笑顔を未来につむぐまち			分野名				
		施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援			施策名				
	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等	与謝野町子ども・子育て支援事業計画			
	根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	幼児教育の充実を図るため、町内私立幼稚園(加悦聖三一幼稚園)の運営経費に対し補助金を交付し、民営教育施設の教育活動を支援する								
	対象者	町内私立幼稚園		対象者数	8		一人当たりコスト	56		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	実施方法	(委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	私立幼稚園(加悦聖三一幼稚園)に対して補助を行う。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
補助金		加悦聖三一幼稚園補助金					450			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	H31計画	H32計画	H33計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	450	0	450	450	450	450	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			450		450	450	450	450	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		対象施設数	園	1/1	1/1	/1	/1			
		指標では表せない 成果・効果		/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		対象施設数	園	1/1	1/1	/1	/1			
		単位あたりコスト…③/実績		450.0	450.0					
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	就学前の幼児教育・保育施設として確保しておく必要がある
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	合併当時から金額は定額となっている
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	加悦聖三一幼稚園に通う町内在住の園児数は平成30年度は8名と、公立幼稚園と比較するとやや少ないですが、町内唯一の私立幼稚園として特色を持ち、地域の子育て環境の充実に貢献していると考えられ、その運営補助として実施しています。 ただし、金額については合併当時から定額(450千円)となっており、再検討の余地があると考えます。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	算定根拠に乏しい補助金であるため、検討を要する。		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内)【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価(外部)【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 平成31年度中に検討をする。	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	予算額の反映状況(対H29) 担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	幼稚園就園奨励費補助事業			担当課	子育て応援課	作成責任者	安達 希美		
	歳出費目	款 10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園費	事業	05 就園援助事業				
	総計	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち			分野名				
		施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援			施策名				
	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等	与謝野町子ども・子育て支援事業計画			
	根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	子どもが私立幼稚園に通園している保護者の経済的負担の軽減を目的とする。								
	対象者	幼児の保護者	対象者数	11	一人当たりコスト	58				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	保育料等を減免した私立幼稚園(加悦聖三一幼稚園、宮津暁星幼稚園)に対して補助を行う。保護者の所得・第何子・ひとり親世帯等の該当の有無等によって補助金額が異なる。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算	
		補助金	私立幼稚園就園奨励費補助金						635	
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	H31計画	H32計画	H33計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,065	0	635	1,081	1,081	1,081	
			国支出金	728	0	424				
			府支出金	337	0	211				
			地方債	0	0	0				
			その他特財	0	0	0				
			特定財源名称	幼稚園就園奨励費補助金			211			
		職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)							
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			1,065		635	1,081	1,081	1,081	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		補助人数	人	13/15	11/15	/15	/15	10		
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		補助人数	人	13/15	11/15	/15	/15	10		
		単位あたりコスト…③/実績		81.9	57.7					
				/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績								
				/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	私立幼稚園の保護者が、公立幼稚園に通う保護者と負担額に大差がつかないように負担軽減するためのものであり、ニーズがあると考えられる。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	公立幼稚園と私立幼稚園(2園)の利用料を比較し、補助額は国基準の1/2としています。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	公立幼稚園と私立幼稚園(2園)の利用料を比較し、補助額は国基準の1/2としています。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	私立幼稚園(加悦聖三一幼稚園、宮津暁星幼稚園)の保護者の利用者負担額に対する補助を行うことで、公立幼稚園の利用者負担額との差を縮めることができおり、指標は達成できていると考える。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	無償化に伴い、本制度は廃止の方向		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内)【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価(外部)【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	無償化に伴い、本制度は廃止の方向	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	京都府第3子以降保育料無償化事業			担当課	子育て応援課	作成責任者	安達 希美		
	歳出費目	款 10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園費	事業	05 就園援助事業				
	総計	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち			分野名				
		施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援			施策名				
	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和元年度		関連計画等	与謝野町子ども・子育て支援事業計画			
	根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	子どもが私立幼稚園に通園している保護者の経済的負担の軽減を目的とする。								
	対象者	幼児の保護者		対象者数	12		一人当たりコスト	15		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	保育料等を減免した私立幼稚園(加悦聖三一幼稚園、宮津暁星幼稚園)に対して補助を行う。 満18歳未満の児童が3人以上いる世帯の第3子以降であり、町民税所得割課税額が77,101円以上211,200円以下の世帯に対して補助を行う。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		補助金		京都府第3子以降保育料無償化補助金					185	
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	H31計画	H32計画	H33計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	124	0	185	332	332	332	
			国支出金	62	0	93				
			府支出金	0	0	0				
			地方債	62	0	92				
			その他特財							
			特定財源名称	第3子以降保育料無償化事業費補助金						
		職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)							
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			124		185	332	332	332	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		補助人数	人	1/1	1/1	/1	-	-		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	H31	H32	最終目標		
		補助人数	人	/	1/1	/1	/1			
		単位あたりコスト…③/実績		/	185.0	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	私立幼稚園に通う第3子以降をもつ一定所得の保護者に対し、その利用料を補助するもので、多子を抱える家庭への支援として補助の必要があると考えられる。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	世帯所得に応じて補助を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	実績は見込みに沿っている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	第3子以降の子を通わせている保護者が安心して子どもを生み育てられる環境づくりを推進するため、補助金により利用者負担が軽減できている。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	無償化に伴い、本制度は廃止の方向		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内)【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価(外部)【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 無償化に伴い、本制度は廃止の方向	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	社会教育指導員設置事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	社会教育指導員設置事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	与謝野町の社会教育の推進(とりわけ青少年健全育成と文化振興)を図ることを目的とする。								
	対象者	与謝野町民		対象者数	21,573		一人当たりコスト	0		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	実施方法	(委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	年間を通し、町直接雇用の社会教育指導員を2名配置し、主に青少年育成会及び文化協会への指導助言を行う。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
社会教育指導体制の構築		社会教育指導員報酬、賃金					1,885			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	2,534	0	1,885	2,535	2,535	2,535	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源 名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			2,534		1,885	2,535	2,535	2,535	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		社会教育推進のための指導助言	月	/	12/12	/12	/12	12(R8)		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標では 表せない 成果・効果			/	/	/	/		
		指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		社会教育指導員の配置	人	/	2/2	/2	/2	2(R8)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…青少年健全育成等は社会からの要請が高い 中…営利には結びつかず、専門性も必要なため民間等では実施ができない
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	下…専門性が求められるため、適任者を直接雇用する必要がある
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	上…専門性の高い方を雇用するには比較的低コストと判断
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	中・下…他手法とのコスト比較は行っていないが、外部機関等に委託するよりは低コストと判断
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…随時指導助言をいただくことが主たるものであり実績も適切に把握している	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…活動実績は見込みどおり推移している	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	下…他自治体でも同様の手法が取られている	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に当初目標を達成しています。 本事業については、社会教育指導員を本町が直接雇用し、青少年健全育成及び文化協会の指導助言を行っていただいているものです。 社会教育指導員は、学校現場での指導経験の豊富な方を雇用しており、各種事情に精通しています。 そのような方々の存在が、町の青少年健全育成及び文化振興の大きな下支えとなっています。</p>		
今後の課題及び方向性 【担当課長記入】	<p>経験・実績豊富な教員OBの力を、社会教育の推進のために活用している事業であり、社会教育推進のためには不可欠となっています。そのため、今後も継続して必要と考えています。</p>		
庁内及び外部による評価	方針区分		所 見
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	方針区分		所 見
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
来年度方針	方針区分		内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	社会教育委員設置事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	社会教育委員設置事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	社会教育法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	社会教育法において、「社会教育委員を置くことができる」とされており、それに基づき委員を委嘱。委員の職務は社会教育に関する助言等であるため、定期的に会議を開催し、与謝野町の社会教育についての報告等を行うと共に助言をいただき、本町における社会教育の推進を図ることを目的としています。								
	対象者	社会教育委員	対象者数	10	一人当たりコスト	17				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	社会教育委員会議の開催(年3回)等により、社会教育行政に係る助言等を得ています。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
		社会教育委員会議の開催等		社会教育委員報酬				84		
社会教育委員活動の支援		大会参加費、大会参加交通費等				20				
上部団体との連携による活動の推進		上部団体(丹後・府)等への活動支援				64				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	166	0	168				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			166		168	175	175	175	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		社会教育事業に関する助言	回	/	3/3	/3	/3	3(H38)		
	指標では表せない成果・効果									
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		社会教育委員会議の開催	回	/	3/3	/3	/3	3(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
		社会教育委員の委嘱人数(2年任期)	人	/	10/10	/10	/10	10(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	上…社会教育を推進するにあたり住民の意見を取り入れることは大切であるが、本事業以外の手法について検討の余地はある
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	×	中…上部団体も府等が担っており、行政でなければ設置は不可能
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	上…報酬額は町規則により定められた額であり適正と判断
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	中…他委員と比較しても高額とは言えない
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	下…特段の工夫は行っていないが、活動実績が近隣市町より低いと低コストと思われる
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…助言等をいただくことが主たるものであり実績も適切に把握している
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…活動実績は見込みどおり推移している
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	下…他市町との交流もあり、実情は把握している
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に当初目標を達成しています。 全国組織として、近隣自治体では全て設置されている委員であるものの、社会教育委員の研修会の議題として、度々「社会教育委員とは何をするものなのか」というテーマが取り上げられることから分かるように、委員自身も何をするための委員なのかを十分に認識できていないケースがあり、また有効に活用できていない自治体も存在します。 社会教育を推進するための推進力として、町民の方々の意見を取り入れるという手法は必要と思われるが、自治体に配置義務のある組織ではないため、社会教育委員という手法が最適なのかについては、検討の余地があると思われます。 一例として、教育委員に、今以上に社会教育について関わっていただくことで代替可能なのであれば、現状を維持しつつコスト削減も可能ではないかと考えます。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>配置の委員会ではないものの、平成23年度調査によると全国746町のうち735町で設置されており、また周辺自治体では活発に活動されている実績もある中で、本当に廃止するのかについては、慎重な判断が必要と思われます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	成人式開催事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	成人式開催事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	本町在住若しくは本町出身者で新成人となる者を対象に、成人となったことを祝い励ますことを目的としています。								
	対象者	新成人	対象者数	287	一人当たりコスト	2				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	成人の日の近日に、成人式を開催することで、新成人を祝い励まします。								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
		成人式対象者への案内		対象者に式典の案内(出欠回答用ハガキ含む)の送付				18		
成人式の開催		記念品、記念写真、式典花等				604				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	584	0	622				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財						歳入費目(項)	
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			584		622	605	605	605	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		成人式出席率	%	/	80.8/80	/80	/80	80(R8)		
	指標では 表せない 成果・効果									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		成人式対象者への案内	回	/	1/1	/1	/1	1(R8)		
		単位あたりコスト…③/実績								
		成人式の開催	回	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…例年8割近い出席率があり、ニーズは高い 中…町全体として新成人を祝うという性格上、他では実施できない
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	下…毎年対象者から意見聴取する場を設けており、出席者の要望に応じている
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	上…式典及び記念品・記念写真の贈呈という最低限の形式で実施している
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	×	中…式典開催以外の選択を検討したことはない
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	下…最低限のコスト判断しているが、記念品単価の切り下げや記念撮影の廃止などコスト削減の余地はある
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…出席率はニーズの高さの指標の一つであり、その実績も把握している
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…式典を開催するという手法の実施にあたっては適切な手法である
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	下…他自治体の開催状況は把握している
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に当初目標を達成しています。 例年、概ね8割程度の出席率を達成しており、KYTでは生放送されるなど、町民(保護者)からの注目度も高い事業であると考えています。また、一旦町外に出た青年が、一堂に会する貴重な機会でもあり、和服で参加する新成人も多く、和装振興の機会ともなっています。 2022年には、成人年齢の引き下げが行われるものの、和装振興や受験・就職等への影響を鑑み、本町では20歳を対象とした成人式の開催を予定しています。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>行政として新成人を祝う唯一の機会であり、また費用も最低限の費用と考えており、今後も同内容での事業継続が必要と考えます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	生涯学習講座等開催事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	生涯学習支援事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	教育基本法において、「国民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯に亘って、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。 本事業は、その趣旨に則り、主に成人対象の社会教育の推進を図ることを目的としています。								
	対象者	受講者・参加者数	対象者数	3,092	一人当たりコスト	0				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等) 月釜…淡交会、音楽会…NPO等								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	各種講座等の開催を通じて生涯学習の推進を図ります。 知遊館一般講座、月釜、歌と映画で綴る人権の集い、知遊館ミュージックフェスタ、知遊館音楽会、ぎやらりい知遊館 など								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		事業実施のための準備経費等		チラシの作成、ピアノ調律等					87	
事業実施に必要な協力者確保等		オペレーター謝金、ぎやらりい協力者謝金等					349			
他団体等連携による事業推進		月釜委託、音楽会委託					295			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	785	0	731				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称	知遊館講座参加者負担金			92	歳入費目(項) 雑入			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			785		731	712	712	712	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		事業への町民の参加割合	%	/	14.3/15	/15	/15	15(H38)		
	指標では 表せない 成果・効果									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		生涯学習講座の開催数	回	/	42/40	/40	/55	55(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
		生涯学習事業(音楽会・映画・月釜)の開催数	回	/	6/5	/5	/5	5(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
ぎやらりー展示の企画数	回	/	11/10	/10	/10	10(H38)				
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	上…多様化するニーズを的確に捉えることは困難 中…特に町民自らが学びたい分野については、民間事業者に委ねる部分や自主サークルの形成を促す等も必要と思われる 下…学習活動の推進のため講座・講演会の開催が適切と判断
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	上…謝金単価は町臨時職員単価表を基準としており妥当と判断、また知遊館一般講座に関しては受講者から参加費を徴収している
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	中…類似事業である未来大学と比較し低額である
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	下…0円事業にも取り組んでいる
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…参加割合の目標値は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…講座数等は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	下…他市町等の生涯学習講座の内容把握には努めている
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、概ね当初目標を達成しています。 単に参加人数のみを追うのではなく、講座等を活用して、どのように生涯学習が推進したのかを問うことが本質と思われますが、そこを数値化することは非常に困難です。また、参加者からの声に応じて、人気のある講座を継続する場合がありますが、人気の無い講座であっても、その分野を推進して行くことが社会的に必要と判断された場合には行っていく必要があります、求められるモノと推進すべきモノ、そこから参加者や町民が何を不得、社会教育がどのように推進されたのかといった、本質的な評価は短時間で成果が出るものではなく、1年サイクルでの評価には限界があります。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>事業そのものを無くす事はできないと考えますが、直営公民館の一般を対象とした公民館活動や受講層が重複する高齢者教室との統合・整理は検討していく必要があると考えています。 また、よさのみらい大学との住み分けも検討していく必要があると考えています。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	高齢者教育事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	生涯学習支援事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	教育基本法において、「国民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯に亘って、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。 本事業は、その趣旨に則り、高齢者を対象とした社会教育の推進を図ることを目的としています。								
	対象者	事業参加者	対象者数	530	一人当たりコスト	0				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	高齢者教育の推進のため、中央・地域公民館において高齢者教室等を実施します。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
事業実施のための準備経費等		講座実施に際しての必要物品の準備等					10			
事業実施に必要な協力者確保等		講座講師等					146			
関連事業										
執行の状況	区 分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	149	0	156	170	170	170	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			149		156	170	170	170	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		事業への高齢者の参加割合	%	/	6.8/5	/5	/5	5(H38)		
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		事業実施回数	回	/	26/24	/24	/24	24(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…高齢者団体と内容協議を行っている
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	中・下…高齢者団体に移管することは、理論上は可能だが、過去のいきさつもあり、抵抗が予測される
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	上…他の生涯学習講座の謝金等と統一しており妥当
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	中…過去には高齢者団体に移管した事業もある
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	下…高齢者団体との共催事業もあり、効率化は図っている
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…参加割合の目標値は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…講座数等は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	下…高齢者団体との共催事業もある
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、概ね当初目標を達成しています。旧町で実施されていた高齢者教室等を引き継いでおり、地域毎で実施方法は異なります。過去の流れから現在の形態に落ち着いており、また参加者も一定見込むことができています。知遊館一般講座の参加者が、ほぼ高齢者という実態があり、どちらかに一本化することで、コストの削減を図ることは可能ですが、生涯学習講座全体の予算が縮小傾向であることを考えた場合、生涯学習推進の立場からは、いたずらに講座数の減少によるコスト削減を図るのではなく、高齢者団体との共催の可能性を追うべきではないかと考えています。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>生涯学習講座等開催事業との統合・整理は検討課題ですが、特に野田川・加悦地域の高齢者教室は、地域の老人クラブとの連携を図っている事業であり、内容を加味しながらの整理が必要であると考えます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見		
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	人権教育事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	生涯学習支援事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等	与謝野町人権教育・啓発推進計画(第二次)			
		根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律							
基礎情報	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他()					類型	一般型		
	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律において、「国及び地方公共団体が行う人権教育及び人権啓発は、学校、地域、家庭、職域その他の様々な場を通じて、国民が、その発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、多様な機会の提供、効果的な手法の採用、国民の自主性の尊重及び実施機関の中立性の確保を旨として行われなければならない。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。 本事業は、その趣旨に則り、広く町民を対象とした人権教育の推進を図ることを目的としています。								
	対象者	与謝野町町民	対象者数	21,573	一人当たりコスト	0				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (住民環境課連携事業) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	各種事業を通じて人権教育の推進を行います。 人権教育指導員の配置 「人権問題を考える集い」の開催 人権ポスター・標語等の募集・表彰								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		人権教育指導体制の構築		人権教育指導員の配置					689	
		人権教育活動の推進		人権講演会の開催、人権ポスター等の募集・表彰					55	
		他団体との連携による人権教育の推進		与謝野町人権教育研究大会への活動支援					60	
	関連事業									
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	791	0	804	808	808	808	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			791		804	808	808	808	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		人権教育指導体制の構築	月	/	12/12	/12	/12	12(H38)		
		小中学生の作品応募率	%	/	26.7/25	/25	/25	25(H38)		
	指標では 表せない 成果・効果									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		人権教育指導員の配置	名	/	2/2	/2	/2	2(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
		人権教育機会の提供	回	/	21/21	/21	/21	21(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
	単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…町民ニーズは少ないが社会的に必要である 中…町民ニーズは少なく直接実施が必要である 下…人権意識の醸成のためには教育による意識醸成を欠かすことは出来ない
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	上…人権教育には専門知識が必要で、適正な人材を低額で雇用している 中・下…他手法とのコスト比較は行っていないが、外部機関等に委託するよりは低コストと判断
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…随時指導助言をいただくことが主たるものであり実績も適切に把握している、応募率はこれまでの実績を維持することとしている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	中…活動実績は見込みどおり推移している 下…他自治体でも、人権教育の推進のための専門職の雇用は
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、概ね当初目標を達成しています。 人権教育指導員を配置することで、各種人権教育事業の推進を行うことができています。 また、公民館活動委託事業においても、人権講座は必須事業としており、身近なところでの人権教育の推進も行うことができます。 人権の推進は、町長部局と教育委員会に分かれており、論理的には町長部局において推進が必要な側面と教育の面から推進が必要な側面がありますが、実質的なところで2つに分かれている必要性があるのかは検討の余地があります。</p>	
	今後の課題及び方向性 【担当課長記入】	<p>人権教育は、あらゆる教育活動のベースとなるもので、現状より活動水準を低下をさせるような措置は出来ないと考えます。しかし、「人権」の分野が住民環境課と社会教育課に分かれているため、どちらかの課に一本化できないかは重要な検討課題であると考えます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	女性教育事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	生涯学習支援事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	教育基本法において、「国民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯に亘って、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。 本事業は、その趣旨に則り、町内唯一の婦人団体(社会教育団体)である与謝野町婦人会への活動支援を行うことを通じ、女性教育の推進を図ることを目的としています。								
	対象者	与謝野町婦人会	対象者数	105	一人当たりコスト	6				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等) 与謝野町婦人会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	与謝野町婦人会活動への補助金支出、資料印刷等の活動支援です。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
婦人団体活動支援		与謝野町婦人会への補助金支出				627				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	627	0	627	627	627	627	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			627		627	627	627	627	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		婦人団体への活動支援	団体	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		該当団体への補助金支出	件	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…男女共同参画社会の実現のためには婦人教育の推進は欠かせない 中…町民の自主活動への補助事業である 下…自主活動への補助を通じて目的達成を図るものであり適切
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	—	行政が負担する根拠は明確ではないが、女性教育の推進のため活動団体への補助は必要である
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…婦人会より報告をいただいている 中…概ね年間事業計画どおりの執行となっている 下…自主活動に対する補助であり、既に外部資源を活用している
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	成果実績・活動実績共に、当初目標を達成しています。 与謝野町婦人会は、自主独立した婦人会運営をされており、また事業内容も、単なる会員同士の交流に止まるものではなく、社会参加事業や小学生への袴の貸し出しなど、公共性があります。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	本町婦人会は、他の婦人会と比較しても自主独立の気風が強く、行政としても現状のまま支援をしていくことが望ましいと考えます。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	障害者教育事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	生涯学習支援事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	教育基本法において、「国民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯に亘って、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。 本事業は、その趣旨に則り、障害者の社会参加を促すこと等を図ることを目的としています。								
	対象者	講座等受講者数	対象者数	111	一人当たりコスト	1				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等) 青年学級、与謝野町教育委員会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	教室等の開催を通じて障害者教育の推進を行うものです。 障害者教室 青年学級事業【委託】								
	主な経費と 具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
		福祉部門との連携事業		障害者教室の実施					8	
青年障害者団体活動支援		青年学級の実施					90			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	108	0	98	135	120	120	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源 名称							
		職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)							
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			108		98	135	120	120	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		障害者手帳交付者に対する教室への参加割合	%	/	6.4/6	/6	/6	6(H38)		
		青年障害者団体活動支援団体数	団体	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
	指標では 表せない 成果・効果									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		障害者教室の実施回数	回	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
		青年障害者の活動機会の提供	回	/	4/5	/5	/5	5(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
				/	/	/	/			
	単位あたりコスト…③/実績									

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…青年学級の企画には運営委員会が行っており、障害者のニーズに則した事業を企画している
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	中…青年学級事業は、障害者の社会参加を促すものであり公的な支援(事業委託)が必要
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	中…本来行政が直接実施すべき事業を委託しているもの
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	—	上…障害者の社会参加を促す事業でありコスト計算は馴染まない
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	中…コスト計算はしていないが、団体に委託することで直接実施より低コストと判断している
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	下…行政の事務負担・事業実施負担は軽減されている
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…参加割合の目標値は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…実施回数等は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		下…委託事業であり既に外部資源を活用している
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、概ね当初目標を達成しています。 活動機会の提供は目標5回に対して実績4回となっていますが、計画はされたものの荒天のため中止になった事業が1事業あり、実質的には目標を達成しています。 障害者は、家に籠もりがち傾向があるため、仲間同士のふれあいや各種体験の場を提供することは、大きな意義があります。 障害者に対する支援は、福祉面と教育面から行われる必要があるという理屈はそのとおりながら、福祉課と教育委員会とに事業が分かれていることに、実質的な意味があるのかは検討の余地があります。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>障害者に対する支援は必要であり、決して低下をさせるべき事項ではないと考えますが、事業内容的に福祉課の障害事業と統合しても大きな影響はないと考えます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	文化活動支援事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	生涯学習支援事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	教育基本法において、「国民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯に亘って、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。 本事業は、その趣旨に則り、町民が自主的に実施する文化活動への支援を行うことで、本町の文化振興を図ることを目的としています。								
	対象者	文化協会会員	対象者数	699	一人当たりコスト	2				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等) 与謝野町文化協会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	与謝野町文化協会に対する補助金執行等の活動支援です。 (文化協会の主な行事としては視察研修、文化祭、機関紙発行等)								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
文化団体活動支援		与謝野町文化協会への補助金支出					1,330			
広域文化活動への支援		丹後文化芸術祭負担金の支出					83			
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,413	0	1,413	1,413	1,413	1,413	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			1,413		1,413	1,413	1,413	1,413	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		文化団体への活動支援	団体	/	2/2	/2	/2	2(H38)		
	指標では表せない成果・効果									
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		該当団体への補助金等の支出	件	/	2/2	/2	/2	2(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…文化活動に親しむ町民は多い
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	中…過去の経過からも公金支出は適切
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	下…自主活動への補助を通じて目的達成を図るものであり適切
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	—	行政が負担する根拠は明確ではないが、文化は心の潤いであり公的な支援をしていくことは必要である
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…自主事業に対する支援が目的である
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…事業の実手法としては補助金支出となるため見込みどおり
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	下…自主団体への補助であり、既に外部資源を活用している
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、当初目標を達成しています。</p> <p>本町文化協会は、自主的な活動団体という位置付けですが、事務面では社会教育指導員が担っており、団体としての完全な自主独立は果たせていません。加えて、会員の高齢化、それに伴う加盟団体数の減少など、課題は山積しています。しかしながら、本町の文化活動の推進をなす中核団体であり、現状どおりの支援が必要であると考えます。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>実質的には、教育委員会(社会教育指導員)が事務を行っており、自主独立という点では弱いのが実態です。しかし、町民の自主的な文化活動を担う組織であることには間違いなく、現状の支援が望ましいと考えます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	まなびだより発行事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	生涯学習支援事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	教育基本法において、「国民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯に亘って、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。 本事業は、その趣旨に則り、本町で行われている生涯学習活動を広く町民に広報することで、生涯学習全体の推進を図ることを目的としています。								
	対象者	与謝野町町民	対象者数	21,573	一人当たりコスト	0				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	「まなびだより」の発行です。								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目	具体的な内容						H30決算	
関連事業	生涯学習広報活動		「まなびだより」の発行							
執行の状況	区 分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	44	0	44	50	50	50	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			44		44	50	50	50	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		「まなびだより」の発行回数	回	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
	指標では表せない成果・効果									
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		生涯学習広報誌の発行部数	部	/	7,900/7,900	/7,900	/7,900	7,900(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…生涯学習の取り組み状況を広報することは事業推進に不可欠
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	中…特定の団体の広報ではないため行政が行う必要がある
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	下…SNS等が完全に普及していない状況では紙媒体が有効
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	×	上…比較的低コストで全戸に広報ができています
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	中・下…既存の広報誌のスペースの有効活用は可能
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…広報を行うことが目的であり実績も把握している	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…活動実績は見込みどおり	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	下…他媒体との連携の可能性は模索する必要がある	
目的及び目標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、当初目標を達成しています。 年に一度「まなびだより」の発行を行っている事業ですが、内容は中央・地域公民館の活動紹介と地区公民館の内、3館の活動紹介です。公民館の活動を広く町民に知らせることは必要ですが、専用のたよりを作成する以外にも、既存の広報誌に特集ページを組むことや、文化協会の機関紙である「さとの文化」の一角に記事を掲載することで代用することは可能であり、「まなびだより」という単独の広報紙を発行することの有用性は再検討する余地があると考えます。 ただし、与謝野町公民館連絡協議会が立ち上がる中、連絡協議会だよりとして、リニューアル(予算組み換え)を行う場合、単独発行の意義も出てくるものと考えます。</p>		
今後の課題及び方向性 【担当課長記入】	<p>現状の年1回の発行であれば、広報誌等の活用でも、一定の事業効果の維持は可能であると考えます。 しかし、与謝野町公民館連絡協議会が設立される予定であり、町公連が機関紙の発行の意欲があるのであれば、そちらに予算の組み替えを行うのが望ましいと考えます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	方針区分	内 容
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	青少年育成会支援事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	青少年育成事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町青少年育成会規則								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	各地区にある青少年健全育成組織(愛護会、子ども会、育成会等)と連携を図りながら青少年の健全な育成を図るものです。								
	対象者	与謝野町町民	対象者数	21,573	一人当たりコスト	0				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
		(委託先・実施主体等) 与謝野町青少年育成会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	与謝野町青少年育成会への補助金支出です。 ・地区青少年健全育成団体への活動補助 ・本部事業の実施								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
青少年健全育成団体支援		与謝野町青少年育成会への補助金支出					1,197			
関連事業										
執行の状況	区 分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,197	0	1,197	1,197	1,197	1,197	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			1,197		1,197	1,197	1,197	1,197	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		全町域を対象とした青少年健全育成活動の推進	事業	/	3/3	/3	/3	3(H38)		
		各地区における青少年健全育成活動の推進	地区	/	23/23	/23	/23	23(H38)		
	指標では表せない 成果・効果									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		与謝野町青少年育成会への補助金支出	件	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績								
		地区青少年健全育成団体の加盟数	団体	/	28/28	/28	/28	28(H38)		
単位あたりコスト…③/実績										
			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…青少年の健全な育成は社会の要請 中…各地区にある団体の組織化であるため行政による実施が必要 下…組織化による推進を図るため必要
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	—	行政が負担する根拠は明確ではないが、青少年の健全育成に公的な支援は必要である
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…目的達成のため事業実施等が行われている 中…見込みどおり推移している 下…地域団体との連携を図っている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	成果実績・活動実績共に、当初目標を達成しています。 本事業の運営の中心は社会教育指導員ですが、活動の主体は地域の青少年健全育成団体です。本部事業として、全町的な事業も年に数回行っており、本部役員と協議しながら適切な事業の実施に努めています。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	本町の青少年健全育成を担う団体であり、今後も同様の支援が必要と考えます。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所 見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	PTA支援事業			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	青少年育成事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	与謝野町連合PTA協議会の支援を通じ、PTA活動全般の活動支援を行うことを目的としています。								
	対象者	PTA会員	対象者数	1,541	一人当たりコスト	0				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	与謝野町連合PTA協議会への補助金支出です。 (スマホ啓発チラシの作成、上部団体との連携による研修実施等)								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
PTA活動支援		与謝野町連合PTA協議会への補助金支出				95				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	95	0	95	95	95	95	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			95		95	95	95	95	
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		与謝野町連合PTA協議会への活動支援	団体	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		与謝野町連合PTA協議会への補助金支出	件	/	1/1	/1	/1	1(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	上…保護者による児童生徒のための活動であり社会的ニーズがある
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	中…児童生徒の健全育成につながるもので行政が支援することは適切
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	下…上部組織と下部組織をつなぐ組織であり、全国的な連携を
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	上…研修会等の参加など独自事業のうち会費では賅えない部分を支出している
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	中・下…上部団体とも関連するPTA活動への支援となるため、単純なコスト削減の議論はなじまない
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	
	有効性		
	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	上…目的達成のため事業実施等が行われている
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	中…見込みどおり推移している	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	下…単位PTAや上部団体との連携が図られている	
目的及び目標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、当初目標を達成しています。 各学校で組織されている単位PTAと与謝地方PTA連絡協議会や府PTA連絡協議会を結ぶ組織として機能すると共に、町内PTAを対象としたスマホ取扱いの啓発チラシなどの独自事業に取り組んでいます。</p>		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>単位PTAと上部PTAの円滑な連携、また独自に児童・生徒の健全育成にも取り組んでおり、今後も継続しての支援が必要と考えます。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	方針区分	所 見
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	方針区分	所 見
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	イングリッシュキャンプ支援事業			担当課	社会教育課	作成責任者	井崎 洋之		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	青少年育成事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	新学習指導要領において、小学校の授業に英語が本格的に導入されることに加え、本町の教育大綱においてもグローバルに活躍できる人材を育成することが求められており、この両方を効果的に実現させる施策として、小学生を対象とした英語に親しむ機会を提供するため、イングリッシュキャンプを実行委員会形式で実施します。								
	対象者	イングリッシュキャンプ参加者数	対象者数	23	一人当たりコスト	10				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ()								
		(委託先・実施主体等) イングリッシュキャンプ実行委員会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	イングリッシュキャンプの実施を支援します。 (イングリッシュキャンプ実行委員会への補助金支出)								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容					H30決算	
イングリッシュキャンプ実施支援		イングリッシュキャンプ実行委員会への補助金支出					239			
関連事業	アベリスツイス友好交流事業 高校魅力化推進事業									
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①			283	0	239	400	400	400	
	財源内訳	一般財源		142	0	120				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		141	0	119				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0	歳入費目(項)			
	職員人件費	特定財源名称		京都府みらい戦略交付金						
		従事職員数(正職/嘱託)								
	概算人件費…②									
総事業費(①+②)…③			283		239	400	400	400		
業績指標	成果実績 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		イングリッシュキャンプ参加者数	人	10/377	23/356	25/339	25/342	30/300(H38)		
		前回参加者数リピーター率	人	/	6/6	5/5	15/15			
	指標では表せない成果・効果	2回目、町内全小学校から参加してもらうことができた								
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		イングリッシュキャンプ実行委員会への補助金支出	件	/	1/1	1/1	1/1	1/1(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	小学校における英語の授業の導入、プログラミング教育にも英語が必要であるなど、今後の社会的ニーズを捉えた事業であるといえるが、民間委託も可能である。英語に親しみきっかけをつくるという目的、目標において適切であり、今後の小学校教育の方向性を踏まえると優先度は高いといえる
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	×	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	受益者にも参加費(4,000円)の負担を求めている、その金額も妥当であるといえる。他の手段(民間委託)との比較は十分ではないものの、委託になると、コストは確実に高くなると思料される。なお、町、近隣市町のALT、京都府CIRIに協力を依頼するなど、最もコストのかかる外国人の人件費の抑制に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	小学生へのアンケート結果の分析、サポーターによる振り返りなど、毎回、成果、実績とともに課題も把握することで次回に繋げている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	第1回実施時に先行事例を研究し、その後は、本町の予算、事業規模、サポーターメンバーの希望や能力に応じた事業の実施に心掛けている。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	<p>①元々、本事業は、多大な経費やマンパワーを要したサマーチャレンジに代わり、低予算かつコンパクトに実施でき、社会的ニーズの高い英語をテーマに発案されたという経緯があります。そうした中、年々、参加人数が増加していること、参加者アンケート結果においては2回ともに90%以上の満足度を得られたこと、第1回の小学生参加者の第2回へのリピート率は100%だったという点では十分、評価に値すると考えています。</p> <p>②本事業を支える地元の英会話サークルの方々、近隣市町で英語が堪能なサポーター、外国人、アベリスツイス訪問経験者、高校生の意識も高く、それぞれの強みを活かしたアイデアが、内容の充実と直結していることも評価すべきであると考えます。</p> <p>③歴代アベリスツイス交流事業の訪問経験者による紹介タイムを設けることにより、将来の交流人材の育成、歴代訪問者の横のつながりの強化にも一役買っているところであると考えています。</p> <p>④加悦高ESS部員にも年を追うごとに参画度を強めた協力をお願いしており、体験を通じた成長の場にしていきたいと考えています。</p>	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>現在、町内の5・6年生が約350人いる中で、事業規模・内容は、30人前後の参加者が限界と考えており、参加者数/対象者数という観点からの評価も必要であると考えています。</p> <p>また、小学生は少年少女スポーツクラブなど1年を通じて多忙であり、参加者の確保も課題の1つになっています。</p> <p>今後においては、上記課題と低予算でできる事業として発案された経緯も踏まえて、事業の方向性に対する議論・検討をしていく必要があると考えています。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	高校魅力化推進事業			担当課	社会教育課	作成責任者	井崎 洋之		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	高校魅力化推進事業				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等	与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略			
	根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (誰を何を、どんな状態にしたいのか)	現在、本町は、少子高齢化の影響で様々な事業において、人員不足、人材不足の状況にあります。 そこで、町内唯一の加悦谷高校と本町との協働によって作る魅力ある教育を通じて、本町に愛着を持ち、本町の課題解決に主体的に取り組もうとする地域貢献人材を育成し、本町における人材の循環体制を構築することにより、人口規模が縮小しても、町の機能が堅持され、本町の文化歴史が継承され続ける状態を目指すものです。								
	対象者	加悦谷高校生徒	対象者数	270	一人当たりコスト	1				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 () (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	魅力化コーディネーター(地域おこし協力隊)の募集 小中高連携事業の推進(スポーツアスリートコース生が地元小学生にトレーニングを指導) その他の連携事業の推進(地域学習への本町職員を講師として派遣、夏休み宿題教室への指導者ボランティア、ESS部員によるイングリッシュキャンプへの協力、美術部員による地元小学校の入学祝黑板报アートの実施)								
	主な経費と具体的な内容 (H30実績)	項目		具体的な内容				H30決算		
		魅力化コーディネーターの募集		コーディネーターの募集に必要な経費の負担				221		
小中高連携事業の推進		高校と町内小中学校とのスポーツ交流事業の実施				59				
その他連携事業の推進		広報活動支援の実施				2				
関連事業										
執行の状況	区分			H29	H29繰越	H30	R1計画	R2計画	R3計画	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	118	0	282	4,906	5,000	5,000	
			国支出金	0	0	0				
			府支出金	0	0	0				
			地方債	0	0	0				
			その他特財	0	0	0	歳入費目(項)			
			特定財源名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)								
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③			118		282	4,906	5,000	5,000	
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	指標では表せない 成果・効果	連携事業参加生徒数	人	/	120/270	200/260	240/240	240/240(H38)		
				/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		魅力化コーディネーター配置数	人	/	0/1	1/1	1/1	1/1(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、人工数に便宜上、1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	持続可能な町づくりを見据えた施策としてニーズを捉えている 地域活力・民間活力も必要だが、町も関わらないと効果は薄い 将来の担い手対策は急務であり、優先度は高い
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	コーディネーターについては、交付税措置のある地域おこし協力隊で雇用しており、コスト対策は十分に実施されている ただ、その他の費用については、本格的な連携は31年度からであるため、令和2年度以降に検証していく必要がある
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	先行事例の分析、外部資源の活用は実施しているが、本格的な連携は31年度からであるため、成果、実績、費用対効果などは、令和2年度以降に検証していく必要がある
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び目標等の達成状況に対する評価	平成30年度は、魅力化の目的を再確認し、できる協働から少しずつ進めていった年となりました。 本事業は、高校と本町をつなぎ、学ぶ意欲、地域の意欲を醸成することが狭義の目的であり、特に通常は外部との接点が少ないESS部、美術部との連携事業が実施できたことは意味があったと考えます。 ただし、2学期以降に着任を予定していたコーディネーターの採用は年度末までずれこむなど達成状況としては低いと言わざるを得ません。	
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	地元の高校を地域活性化に資する存在として認め、コーディネーターを配置するなど、本町が高校をバックアップし、保幼小中高を通じて、本町に愛着を持ち、将来に渡って地域に貢献する人材を育て、持続可能な町を作っていくとする理想や理論は、島根県を始め、全国の過疎地域の町で広がりを見せつつあります。 ただし、魅力化の方向性は、その町、高校ごとに異なっており、本町においても、本町に合う方向性を見出し、進んでいくことが課題となります。 また、教育の効果を測るには時間が掛かります。効果が出るまで投資を続ける覚悟と、短期的な効果と長期的な効果を設定し、随時、検証していく作業の両立が課題と考えます。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	二次評価 (外部) 【行革担当課記入】	方針区分	所見	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H29)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			